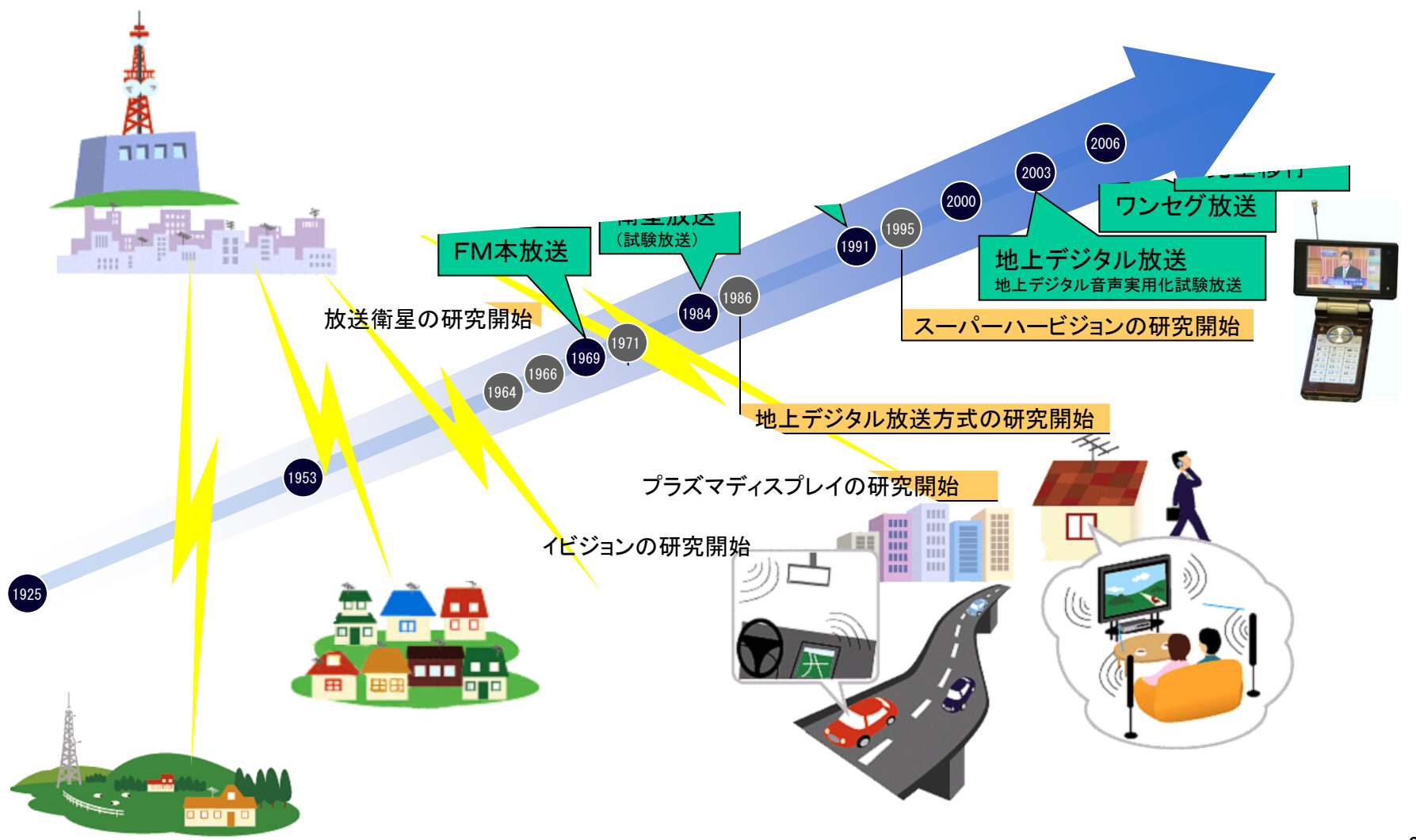


ワイヤレスブロードバンド実現のための 周波数検討ワーキンググループ ー公開ヒアリング資料ー

平成22年6月22日
日本放送協会

放送イノベーションの変遷

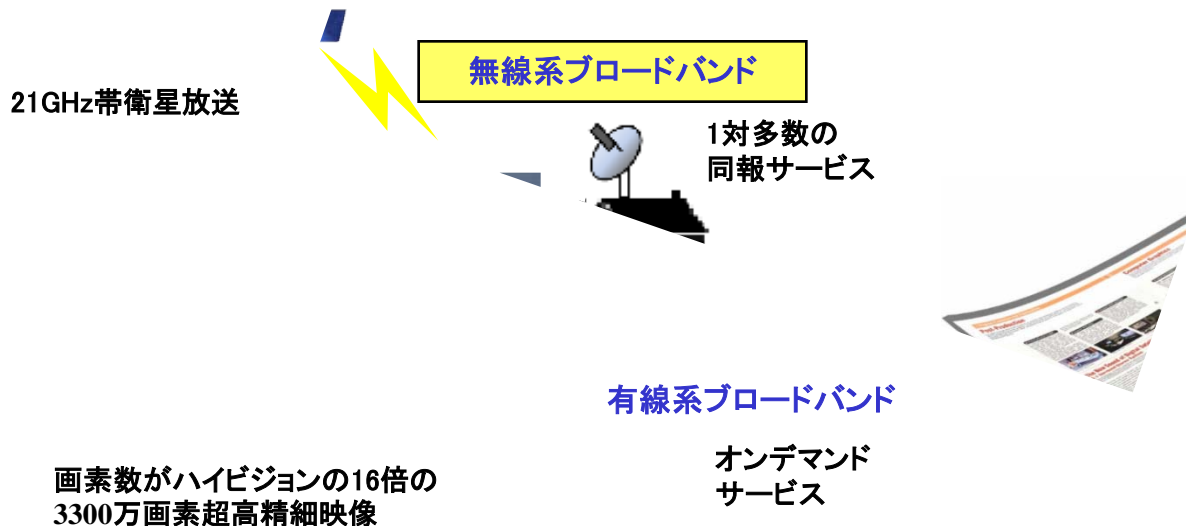
放送サービスのさらなる発展



スーパーハイビジョンの実用化に向けた展望

“あたかもその場にいるような臨場感と”グラビアのような映像“を楽しめるスーパーハイビジョンの開発が進展し、それに伴い放送用伝送路の広帯域利用が進む

- 地上テレビ放送周波数帯のホワイトスペースを活用したスーパーハイビジョン伝送の実証実験
- 21GHz帯衛星によるスーパーハイビジョンの試験放送



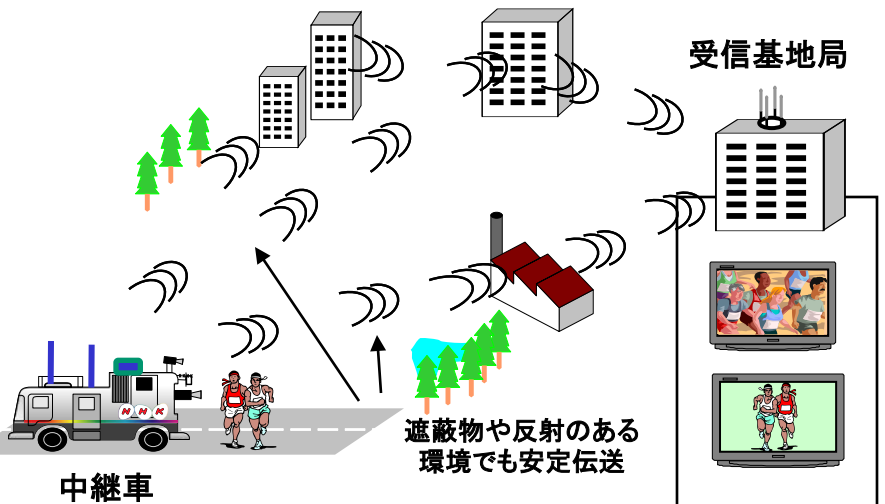
スーパーハイビジョン(SHV)の研究開発目標ロードマップ

2010	2015	2020	2025
	ホワイトスペースを活用したSHV実証実験	21GHz帯衛星放送によるSHV試験放送	地上放送によるSHV試験放送

番組制作における無線伝送システムの高度化

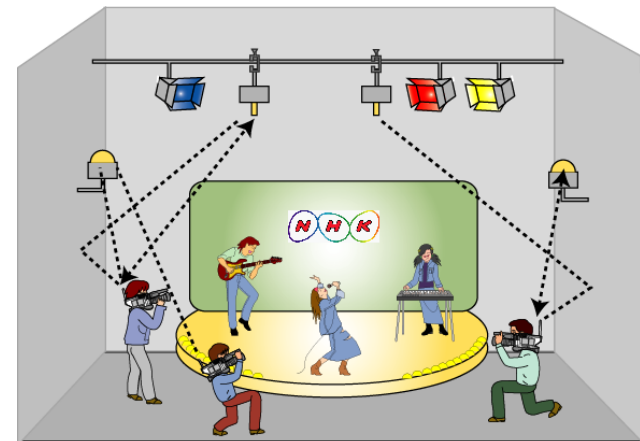
ハイビジョン化され高品質で多彩な演出による質の高い番組を制作するために、番組中継や素材伝送などの放送業務用無線についても、現行の周波数を確保しつつさらなる高効率伝送技術を開発するとともに、ミリ波帯などの新たな周波数開拓の研究開発を促進する。

- 高能率映像符号化と高効率伝送方式による800MHz帯映像中継システムの高度化
- ミリ波帯(42GHz帯、55GHz帯など)を用いた大容量・低遅延ワイヤレスカメラの開発



従来の2.5倍の伝送容量増でスループット41Mbpsを実現

ハイビジョン2チャンネルを伝送



スタジオで移動しながら撮影しても途切れないミリ波帯ワイヤレスカメラ

800MHz帯映像中継システムの高度化
(H18～H21総務省委託研究)

ミリ波帯スタジオワイヤレスカメラ

WGの今後の議論に向けて

- ワイヤレスブロードバンドの周波数割り当てにあたっては、電波が有限希少な国民共有の資源であることから、経済性や利用頻度だけでなく、それぞれの利用システムの特質も考慮したバランスある配分を行うことが重要。
- ワイヤレスブロードバンドのうち、放送分野における将来のイノベーションとして期待されるスーパーハイビジョンについても、サービスの実現に向けた周波数を確保することが適当。
- ワイヤレスブロードバンドの進展により拡大する周波数利用の要望に応えていくために、さらに効率的な利用技術の研究開発や新たな周波数の開拓を促進。